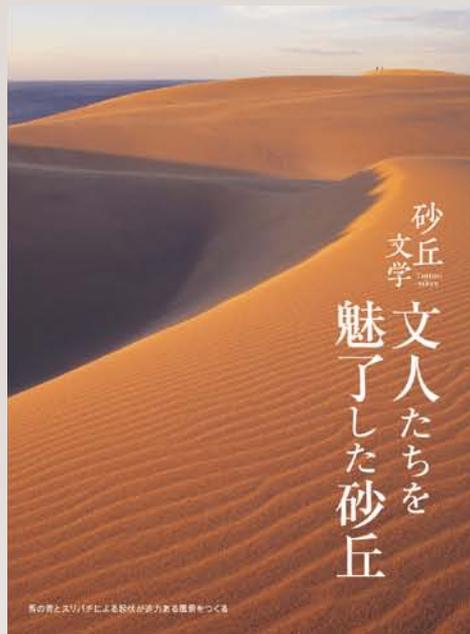




とっとり文学の情景

情景を生みだす風景と旅

「文字・活字文化の日」記念事業



展示
期間

令和元年

11月19日(火)

▶ 12月23日(月)

入場無料

会場 鳥取県立図書館 2階
特別資料展示室

開館時間 火～金 午前9時～午後6時30分
月・土・日・祝 午前9時～午後5時
休館日 11月30日(土)、12月12日(木)

郷土文化講演会

手話通訳あり

申込不要

入場無料

「とっとり文学の情景
地域を見つめる旅」

講師 川村 湊氏

(文芸評論家・法政大学名誉教授)



期日 令和元年 11月23日(土)

午後2時～午後4時

会場 鳥取県立図書館 2階大研修室

後援/県立図書館

申込不要

入場無料

※要支援者は事前連絡

鳥取大学地域学部「地域学研究会第10回大会」
「地域をえがくー想像力としての地域学」

期日 令和元年 11月24日(日) 午前10時～午後4時35分
(午前9時30分受付開始)

会場 鳥取大学地域学部棟 5階 5160教室

午前 基調講演

「小説で街をえがく」
講師 柴崎 友香
(小説家、151回芥川龍之介賞)

午後 シンポジウム

「私と街の
できごとをえがく」

(くわしくは裏面をご覧ください)

「文字・活字文化の日」記念事業

とっとり文学の情景

情景を生み出す風景と旅

「旅路にて、あるいは生まれ育つ時の中で、とっとりの風土に触れた文人たちは、ここにしかない何かを胸に止め、それぞれの言葉で織り上げた。

文人たちの目に、とっとりはどう映ったのか。

時を越えて彼らの想いに触れる、そんな「文学の情景」を訪ねてみよう。」

—『とっとり文学の情景』プロローグより一部抜粋

島崎藤村、田山花袋、志賀直哉といった鳥取に旅した著名文学者、人生の旅路の中で影響を受けた郷土出身文学者らが表現した文学情景について、その言葉と風景写真とで紹介します。描かれた地域の姿を再発見してみませんか。

- 文学写真集『とっとり文学の情景』パネル展示
- 砂丘と文学表現
- 温泉の文学
- 作家たちの胸の内
- 鳥取の風土－情景としての継承
- 郷土人物が描いた旅の記



郷土出身文学者シリーズ特別編
『とっとり文学の情景』増補版
企画・編集 鳥取県立図書館
発行 平成30年3月



尾崎 放哉
「咳をしても一人」の自由律俳句で知られる「漂泊の俳人」(現鳥取市出身)



河本 緑石
宮沢賢治との交流で知られ、砂丘社で活躍した自由律俳人(現倉吉市出身)



井上 靖
『通夜の客』には旧福栄村(日南町)の美しさを表現

郷土文化講演会 「とっとり文学の情景 地域を見つめる旅」

文芸評論家

かわ むら みなと
川 村 湊 氏

期 日 令和元年 11月23日(土)

午後2時～午後4時

会 場 鳥取県立図書館

2階大研修室

(講演要旨) 尾崎翠と岩井温泉などを題材に、旅と文学の関係を文学研究と文芸評論を通じて培った多角的な視点で再発見していく。

(講師プロフィール)

昭和26年(1951)、北海道網走市に生まれる。法政大学卒業後、執筆活動を続け1981年「群像新人文学賞」の評論部門優秀作受賞。以後も文芸評論にとどまらずアジア文学、随筆、紀行文、民俗と多岐にわたる分野で文筆を重ねる。

法政大学国際文化学部教授を経て、現在同大学名誉教授、日本文藝家協会常務理事、日本近代文学館評議員を務めるとともに、北海道新聞文学賞、読売文学賞、木山捷平賞(岡山県笠岡市)など各地で選考委員を務める。

受賞歴 群像新人文学賞(評論部門)優秀作/平林たい子文学賞/伊藤整文学賞/読売文学賞(随筆・紀行部門)

主催・問合せ

鳥取県立図書館

〒680-0017 鳥取県鳥取市尚徳町101

☎ 0857-26-8155 FAX 0857-22-2996

ホームページ <http://www.library.pref.tottori.jp/>

交通アクセス

バス:「県庁・日赤前」下車

バスターミナルから
砂丘・湖山・賀露方面行バスで、約10分
市内回り岩倉・中河原方面行バスで、約15分

徒歩: JR鳥取駅から約20分

鳥取県立図書館

